

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	千葉智子
全体計画						経費区分	—			内線	3613	
事務事業名		4248 児童センター管理事業										
所 属		300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策		02020900 子育て環境の充実										
会計		01 一般会計										
予算科目		030206 民生費・児童福祉費・児童センター費										
事業		020000 児童センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
児童センター施設の維持管理、修繕。 遊具の保守点検。						適正な施設の維持管理を行うことで、安心・安全な 児童健全育成を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行った。遊具の保守点検業務を委託した。	予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行った。遊具の保守点検業務を委託した。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行った。遊具の保守点検業務を委託した。	予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行う。遊具の保守点検業務の委託を行う。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行う。遊具の保守点検業務の委託を行う。	予算の範囲内で、児童センターの施設の修繕等を行う。遊具の保守点検業務の委託を行う。

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		3,726	3,296
特 定 財 源	国庫支出金	505	404
	都道府県支出金	505	404
	地方債	0	0
	その他	505	53
一般財源		2,211	2,435
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.3	0.3
人 員 コスト	正規職員	4,289.4	1,429.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	353.7	353.7
	計	4,643.1	1,783.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		8,369.1	5,079.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,707	燃料費、電気料、ガス料、水道料、下水道使用料、修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,019	機器賃借料 備品購入（トランポリンフレーム幅広パット）ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,846	燃料費、電気料、ガス料、水道料、下水道使用料、修繕料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,450	使用料及び賃借料（AED・印刷機） 原材料費、手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	児童の安心・安全な居場所を確保するため、適切な施設の維持管理を行う。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	遊具の保守点検、施設の修繕等の実施。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	最低限の施設の維持管理に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

安心・安全な施設の維持管理、運営ができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

効率的な管理に努め、現状を維持する。

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
-----------	-----------

2次評価コメント

施設の老朽化が見られるが、トイレの洋式化などを順次行う必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント
